



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

NO5

発行日 平成30年6月8日

発行者 校長 佐藤吉宏

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん



新調された万国旗の下に大きな踊りの輪

全校の代表として指揮台に上がり、声も笛の音も大きくやれてよかったです。指揮台の上は緊張したけれど、みんなが指示どおりの動きを見せてくれて安心しました。大勢の人が大きな輪をつくり踊ってくれたのでとてもうれしかったです。

魚沼音頭リーダー 6年 小島空雅



伊米ヶ崎大運動会

ありがとうございました。

大勢の皆さんからご参加、ご協力いただき、好天に恵まれたこともあり、盛会となりました。

開催日以前から様々な準備にご協力いただいた公民館協力員、伊米ヶ崎共和国役員の皆様、PTA役員の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

今回が5回目となった伊米ヶ崎大運動会でしたが、これから10回、20回と積み重ね、伊米ヶ崎地域の元気が広がって行くことを願っています。25回を迎える頃には、児童の中に父母となり参加する人がいるかもしれません。とても楽しみです。

ふるさとの森開き・・・ようやく森に入れそうです

今回は板木地区在住の 中村佳美さん に講師としてご協力いただき、5月31日に森開きを行いました。中村さんから「夢」をもつことの大切さを森づくりの体験とつないで語っていただきました。

今年は「オビカレハ」の大発生で、ふるさとの森も大きな被害を受けました。しかし、この森開きを前に、駆除の効果と季節変わりにより被害も終息に向かいました。木陰が気持ちよくなる季節、これから森で楽しく過ごす子ども達の声が響き渡ることでしょう。



地域種目 玉入れ

P T A空きビンアルミ缶回収 6月3日(日)



大浦地区

今年度第1回の空きビンアルミ缶回収が各地区で行われました。それぞれの地区ではP T A地域代表委員を中心に保護者の皆さん(特にお父さ方)が積極的に回収を進めてくださいました。協働の手本となるお家の皆さんの活躍は、P T A資金の調達以上に大切なことのように感じます。

人口減少に端を発し、働き方改革が論議されています。地域内の協働性も関係しそうな気がします。これから生きる子ども達に「共に生きる」「共に働く」ことを伝えたいものです。

6月生活朝会「友達の輪を広げよう」

6月・7月には様々な交流活動が学年で計画されています。その機会に様々な人とのかかわりを広げていきたいと思えます。子どもの数が減少すると共にかかわる機会も減少しています。そして、学年・学級を越えた人間関係づくりが、今とても大切になっています。



フロアの子ども達からスマイルパワービーム

朝会ではいつものように職員劇団が場面提示をしながら、子ども達に接し方の問題点を考えてもらいました。そして、フロアの子ども達から元気になるスマイルパワービームをもらい、よりよい接し方を再度示しました。その後、学年、男女、地域をバラバラにしてペアをつくり、最近楽しかったことを紹介し合いました。初めての人に声をかけたり、話をする事は、実際とても勇気が必要なことです。その勇気を含め、接し方にチャレンジして貰いました。「かかわる勇気とよりよいかかわり方」これは未来への布石です。

児童会とP T Aと一緒にあいさつ運動

運営委員会がスローガンとあいさつ運動を提案



本日からあいさつ運動がスタートしました。6日の児童朝会では運営委員会が劇であいさつ運動を呼びかけました。

運営委員会では昨年の反省を元に、あいさつ運動のやり方を変えて提案しています。それは、「もっと、広くいろんな場所で」ということです。昨年までは玄関のところだけで行っていたあいさつを廊下や教室前などに広げ、分かれて行うことにしました。その呼びかけに

応え、児童朝会後半に各登校班であいさつ運動の作戦会議がもたれました。6年 番場穂愛さんの班では「班の人数を玄関と廊下に分けてあいさつしようということで人数分けをしました。1年生は初めてなので6年生と一緒にやることにしました。」と話し合った作戦を教えてくださいました。みんなで話し合い、決めて実行する。大事にしたい姿です。

新潟県では6月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」としています。